

# 東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	編集後記 編集委員会
作成者（著者）	東邦看護学会編集委員会
公開者	東邦看護学会
発行日	2020.03.01
ISSN	21855757
掲載情報	東邦看護学会誌. 17(2). p.63 63.
資料種別	その他
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	<a href="https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD70476075">https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD70476075</a>

## 編集後記

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市で、新型コロナウイルス関連肺炎の発生が報告され、中国を中心に、世界各国からも発生が報告されています。感染の広がりが武漢や中国本土とそれ以外では大きく異なること、特に武漢では多くの患者が出たため医療機関が十分に対応しきれない状況になっているとのことです。日本においては、感染症法上の指定感染症に指定され、患者に加え感染が疑われる方に対する入院措置やそれに伴う医療費が公費負担となり、集団発生を防ぎ、感染の拡大を防止するための取り組みが進んでいます。

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールは今年で生誕200年になります。ナイチンゲールは、「看護覚え書」の中で、看護の根本原則として、屋内の空気を屋外の空気と同じように清浄に保つことが患者に不可欠の要素であると述べています。また清潔については、看護婦が皆、日中に頻繁に手洗いをするよう気をつけるべきであることや、顔も洗えばなおよいと述べています。新型コロナウイルスによる感染症に対して、どう対処し感染の拡大を防止していくかについて、すでにナイチンゲールが看護の本質として明らかにしていたと言えます。看護において、私たちの実践の中にこそ研究の種があり、よりよい実践のために研究の積み重ねが必要なのだと改めて思います。

東邦看護学会は、東邦看護研究会から学会へ発展して10年目を迎えました。本誌17巻2号には、研究報告1編、実践報告1編、資料4編の計6本の論文を掲載しております。査読者の皆様には大変お忙しい中、丁寧に査読をいただきましてありがとうございます。査読の段階で、査読者からの指摘に投稿者は真摯に向き合い、ともに論文の質を高めるためのプロセスは、投稿者はもちろんですが査読者にも学びの場となるピアレビューの場であると思っております。東邦看護学会誌は閲覧数も増えております。投稿規定や査読精度を高めるための見直しを行い、より多くの方に投稿いただき、読んでいただける学会誌を目指していきたいと思っております。

今年度から編集委員長を拝命し、至らない点が多々あったかと思いますが、編集委員の皆様、査読者の皆様、会員の皆様のご支援でこの1年の仕事を無事終えることができましたことに、心よりお礼申し上げます。

岸 恵美子

## 編集委員会

- 委員長 岸 恵美子 (東邦大学看護学部)  
 委員 安岡 砂織 (東邦大学看護学部)  
 坂本 なほ子 (東邦大学看護学部)  
 中田 かおり (東邦大学看護学部)  
 後藤 喜広 (東邦大学看護学部)  
 芳澤 正子 (東邦大学医療センター大森病院)  
 吉野 尚一 (東邦大学医療センター大森病院)  
 勝部 良子 (東邦大学医療センター大橋病院)  
 井草 ひろみ (東邦大学医療センター大橋病院)  
 清田 和弘 (東邦大学医療センター佐倉病院)  
 古川 信章 (東邦大学医療センター佐倉病院)